



「学校選択制度」に関する アンケートにご協力をお願いします

市民の皆様には、日頃から西東京市教育行政にご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

西東京市教育委員会では、学識経験者・保護者・地域関係者・学校長で構成される「学校選択制度に関する検討懇談会」を設置し、入学前に学校を選択できる“学校選択制度”の今後の在り方について検証・検討を進めています。

この度の調査は、市民の皆様の学校教育に関するお考えやご意見を伺うもので、調査結果は検討を進める上での基礎資料として活用させていただきます。

今回の調査に当たりましては、令和3年10月1日現在、市内にお住まいの18歳以上の方々（平成15年4月1日以前にお生まれの方々）から3,500人を住民基本台帳から無作為に選ばせていただき、そのおひとりとして、あなた様にもご協力をお願いすることになりました。

なお、調査は無記名で、お答えはすべて統計的に処理しますので、個人のお名前が明らかになることはありません。また、皆様からいただきました回答の集計結果は、市のホームページなどで公表します。

お忙しいところお手数をおかけしますが、本アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年11月
西東京市教育委員会

【ご記入に当たってのお願い】

◇ WEBによる回答方法

- ・右のQRコードを読み取り、WEBから回答ができます。
- ・回答の際は、QRコード下の6ケタの「認証コード」を入力してください。



認証コード「●●●●●●」
WEBサイトは12/10（金）まで有効

◇ 郵送による回答方法

- ・記入後の調査票Ⅰ～Ⅱを、同封の返信用封筒に入れ、返送してください。

（切手は不要です）

◇ 回答期間

- ・令和3年12月10日（金）までにWEBまたは郵送により回答してください。
- ・WEBから回答いただいた場合、郵送による回答は必要ありません。

◇ その他

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などが代わりに回答してください。
- ・調査票についてのご質問などは、以下までお問い合わせください。なお、本調査は無記名で調査を行っているため、個別回答はいたしませんので、ご留意ください。

学校選択制度に関するアンケート

～調査票 I～

WEBによる回答方法（有効期間12月10日まで）



- ・WEBからの回答も受け付けています（QRコードを読み取ってください）
- ・6ケタの認証コードを入力してください。
- ・WEBから回答いただいた場合、郵送による回答は必要ありません。



認証コード「●●●●●●」

郵送による回答方法（12月10日メ切 当日消印有効）



- ・設問に選択肢のあるものは、当てはまる番号に○をつけてください。
- ・回答が「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的に記入してください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を < > 内に指定していますので、ご注意ください。
- ・回答後の調査票 I～II を、同封の返信用封筒に入れ、返送してください。（切手は不要です）

----- 以下、質問内容 -----

あなた個人のことについてお聞きします（問1～問10）

問1 年齢をお答えください。 <○は1つ>

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1 10代 | 4 40歳～49歳 | 7 70歳～79歳 |
| 2 20歳～29歳 | 5 50歳～59歳 | 8 80歳以上 |
| 3 30歳～39歳 | 6 60歳～69歳 | |

問2 お住まいの町はどちらですか。 <○は1つ>

- | | | | |
|-------|--------|----------|-----------|
| 1 田無町 | 7 向台町 | 13 富士町 | 19 ひばりが丘北 |
| 2 南町 | 8 芝久保町 | 14 中町 | 20 栄町 |
| 3 西原町 | 9 新町 | 15 東町 | 21 北町 |
| 4 緑町 | 10 柳沢 | 16 泉町 | 22 下保谷 |
| 5 谷戸町 | 11 東伏見 | 17 住吉町 | |
| 6 北原町 | 12 保谷町 | 18 ひばりが丘 | |

問3 現在、あなたと同居されているご家族はどなたですか。 <○はいくつでも>

- | | | |
|----------|--------------|------------|
| 1 ひとり暮らし | 5 兄弟姉妹 | 9 子ども（未就学） |
| 2 配偶者 | 6 子ども（高校生以上） | 10 孫 |
| 3 父・母 | 7 子ども（中学生） | 11 その他（ ） |
| 4 祖父・祖母 | 8 子ども（小学生） | |

問4 あなたの現在の職業を教えてください。 <〇はひとつ>

- | | | |
|-----------------|-----------|----------|
| 1 自営業・事業者・農業 | 4 専業主婦・主夫 | 6 無職 |
| 2 勤め人（会社や公的機関等） | 5 学生 | 7 その他（ ） |
| 3 パート・アルバイト等 | | |

問5 現在の住所に居住してから何年になりますか。 <〇はひとつ>

- | | |
|------------|-------------|
| 1 1年未満 | 3 5年以上10年未満 |
| 2 1年以上5年未満 | 4 10年以上 |

問6 西東京市では、理由の有無に関わらず自由に入学先を選べる“学校選択制度”があるということをご存知でしたか。 <〇はひとつ>

- | | | |
|---------|------------|----------|
| 1 知っていた | 2 聞いたことはある | 3 知らなかった |
|---------|------------|----------|

問7 あなたは、地域に関心があるほうだと思いますか。 <〇はひとつ>

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 とても関心がある | 3 どちらかと言うと関心はない |
| 2 どちらかと言えば関心がある | 4 関心はない |

問8(1) 【コロナ禍以前のことについてお聞きします】

地域行事には参加しているほうだと思いますか。 <〇はひとつ>

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1 よく参加している → 問8(2)へ | 3 ほとんど参加していない → 問9へ |
| 2 どちらかというに参加している → 問8(2)へ | 4 全く参加していない → 問9へ |

問8(2) 【問8(1)で「よく参加している」または「どちらかというに参加している」と答えた方にお聞きします】

どのような行事に参加していますか。 <〇はいくつでも>

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 お祭り | 5 地域清掃 |
| 2 学校での行事・イベント | 6 子どもの見守り活動 |
| 3 ラジオ体操 | 7 その他（ ） |
| 4 ボランティア活動 | |

問9 学校と地域の関係性は、学校選択制度が始まる15年前と比較して、どのように変化してきたと思いますか。 <〇はひとつ>

- | | | | |
|-------------|-------------|---------|---------|
| 1 関係性が濃くなった | 2 関係性が薄くなった | 3 変わらない | 4 わからない |
|-------------|-------------|---------|---------|

問10 子どものいる家庭と地域の関係性は、学校選択制度が始まる15年前と比較して、どのように変化してきたと思いますか。 <〇はひとつ>

- | | | | |
|-------------|-------------|---------|---------|
| 1 関係性が濃くなった | 2 関係性が薄くなった | 3 変わらない | 4 わからない |
|-------------|-------------|---------|---------|

学校選択制度に関するアンケート

～調査票Ⅱ～

西東京市の学校選択制度の現状 をお読みいただき、問11～問13にお答えください

西東京市の学校選択制度の現状

西東京市では

友達と同じ小学校に入学したい
やりたい部活のある中学校に入学したい



約10%

小学校



約15%

中学校

の子どもが **学区外** に越境通学しています



従来～

指定校変更制度

特別な理由がある人
Ex.兄弟姉妹関係,転居予定

or

H15年度～

学校選択制度

受入枠の範囲内
誰でもOK

の申請が必要です

学区外の学校に
入学するには

学校選択制度はメリットもある一方で、デメリットもあります

メリット

1 特色ある教育の提供

子どもの個性に即した学校で教育が受けられる
ようになります



2 子どもの学習意欲の向上

子ども自身が学校を選ぶことで学習意欲が向上します

3 通学の利便性の向上

自宅から近い学校や安全なルートを通る学校を選べます

4 学校教育の質的水準の向上

学校側は選ばれる意識を持ち、学校教育の創意・工夫を
凝らすことで、特色ある学校づくりを目指します

5 保護者の関心の向上

選ぶ側の保護者が学校に対する関心をより深めることで
学校との信頼関係が新たに構築されます

デメリット

1 学校間の人数の格差

小規模化や教室数が不足している学校があります



2 教員数の確保や教室の整備が困難

入学者数の見込みが困難なため、翌年の教員数の確保や
教室の整備が困難となります

3 登下校中の安全確保が困難

通学距離が長くなると、交通事故のリスクが高まります

4 地域との関係の希薄化

地域コミュニティを越えて通学することで、
学校と地域が希薄化する懸念があります

5 制度の不公平感

受入枠がなく希望することができない学校や、
特別支援学級では選択することができません

問11 あなたが学校選択制度による課題だと思うものはありますか。 <〇はいくつでも>

- 1 課題と思うものはない
- 2 学校間の人数の格差が生じていること
- 3 教員数の確保や教室の整備が難しくなること
- 4 登下校中の安全確保が難しくなること
- 5 地域と学校の関係が希薄化していくこと
- 6 制度の不公平感（受入枠がない学校や特別支援学級で制度の導入がない）があること
- 7 その他（

問11へ

表ページ下に問11があります。お忘れのないように記入してください

問12 “小学校”の入学における学校選択制度は今後どうするべきと考えますか。 <○はひとつ>

- 1 今後も理由を問わず選択できる形で継続するべき
- 2 選択できる事由を限定して運用するべき
- 3 小規模の学校のみ限定して、受入れを続けるべき
- 4 大規模の学校からは、ほかの学校を選択できるようにするべき
- 5 地域をブロックに分けてその範囲内からのみ選択できるようにするべき
- 6 全面的に廃止するべき
- 7 わからない
- 8 その他 ()

問13 “中学校”の入学における学校選択制度は今後どうするべきと考えますか。 <○はひとつ>

- 1 今後も理由を問わず選択できる形で継続するべき
- 2 選択できる事由を限定して運用するべき
- 3 小規模の学校のみ限定して、受入れを続けるべき
- 4 大規模の学校からは、ほかの学校を選択できるようにするべき
- 5 地域をブロックに分けてその範囲内からのみ選択できるようにするべき
- 6 全面的に廃止するべき
- 7 わからない
- 8 その他 ()

問14 学校選択制度に関するご意見がございましたらご自由に記入してください。

自由記載欄

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

調査票Ⅰと調査票Ⅱを返信用の封筒に入れて、

12月10日（金）までに返送してください。（切手は不要です）

WEBからご回答いただいた場合、郵送の必要はございません。